

地下神殿を巡る春日部初夏の旅!

●地下神殿を楽しむ!

5月19日(日)は午後から「久喜麗和会・春日部地区浦高会合同企画/地下神殿を巡る春日部初夏の旅」でした。今回は浦和麗和会、西部浦高会、さらには川口市やさいたま市在住の同窓生の皆様、ご家族連れでのご参加もいただき、23名の皆様に地下神殿(首都圏外郭放水路)と粕壁宿の見学を楽しんでいただくことができました。



■首都圏外郭放水路

首都圏外郭放水路は国道16号の地下約50メー

トルに建設された延長6.3キロメートルの地下放水路です。施設は、各河川から水を取り入れる流入施設、地下で貯水したり、流下する地下水路、そして地下水路から水を排出する排水機場等で構成されています。対象地域は、埼玉県東部の県境にある江戸川と春日部市内を流れる中川、大落古利根川にはさまれた低平地で、この地域の洪水を緩和するために作られました。【江戸川河川事務所 HP より引用】



今回の見学では、地下神殿と呼ばれる「調圧水槽」と直径約30m、深さ約70mの第1立坑をキャットウォークから覗く1時間のコースを楽しんでいただきました。

【いざ、地下神殿(調圧水槽、立坑)へ】



【見学前に根本会長からご挨拶】



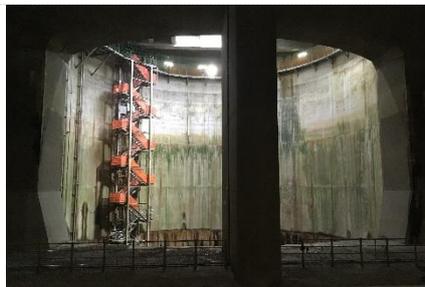
【見学スタートは構造説明から】



【地下神殿への入り口です】



【116段22mを降りて調圧水槽に】



【調圧水槽から立坑を見る】



【地下神殿内での集合写真、石田様提供】



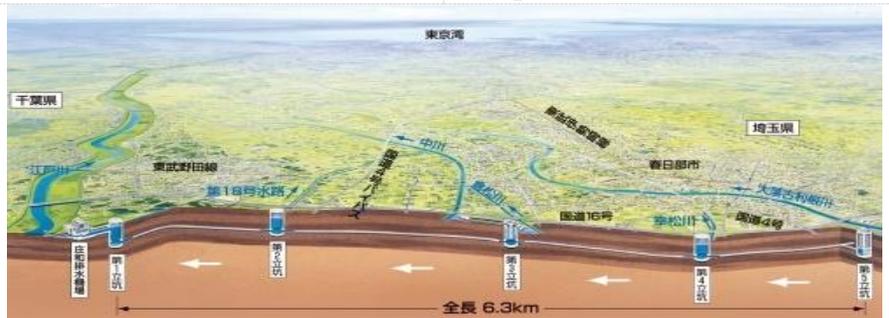
【地下神殿、調圧水槽の写真】



【立坑の70m下を覗く、石田様提供】



【江戸川の放水口、石田様提供】



【外郭放水路の全体図、河川上流からの断面図、江戸川河川事務所 HP より】

地下22mの地下神殿は温度11度と肌寒く、やはり異界に迷い込んだ感じがしました。また、深さ約70mの立坑はキャットウォークのネット越しにも足のすくむ思いがしました。